

家を 一歩出て、ママにおいで



VITIS (ビティス) 代表
太田貴之さん

令和元年度まで、堅下北中学校の校長をされる。ビティスを運営するNPO法人「リエゾン」の代表理事。現在は、教育委員会に在籍中。

オガタ通り商店街の真ん中にある「ふれあい館オガタ」。ここで毎週水曜日、いじめや学校への不適応などにより悩みを抱え、不登校になっている子どもたちが安心して過ごせる「第3の居場所 VITIS (ビティス)」が開催されています。

求められる第3の居場所

代表者の太田貴之さんに名前の由来を聞くと「柏原の特産ぶどうに関連した名前を付けようと考えました。『VITIS』はぶどうの学名であり、ぶどうの果実は、軸ではつながりながら、一つ一つが果皮で覆われ、他の果実と境界が明確。一人一人の境界線は守りながら、強制されることなく、ゆつくりと社会ともつながれる。みんなが安心して過ごせる場所でありたいという思いを込めました」

文部科学省の令和元年度調査によると、全国の小・中学校における不登校の児童生徒数は、18万1272人（前年度比10・2%増）で過去最多を更新。中学校では27人に1人が不登校だといわれています。不登校だけでなく、虐待、いじめ、貧困、引きこもりなど子どもをめぐる課題は複雑化、多様化しています。その対応のためには、それぞれの事情に合わせた対応が可能なさまざまな受け皿（機関）が必要と太田さんは言います。

「私自身、長い間学校教育に関わってきた中で、困っている子どもや保護者が以前より増えてきていると感じていました。そんな中で、学校・家庭・地域以外にも子どもの居場所が必要ではないかと考えるようになりました。将来の社会を担っていく子どもたちが、社会の一員として健やかに育っていくことは、保護者や学校だけの願いではなく、私たち市民にとっても大きな願いであり、これからの柏原にとって、とても大切なことだと思っています。そんな思いから、『子どもと保護者と地域と学校と社会をつなぐ』活動をしていこうと考えようになりました。また柏原は私が小さい頃から育ったまちなので、少しでも貢献できたらうれしいです」

自分のペースで大丈夫

VITISでは、子どもたちや保護者と相談して、個別の授業やスポーツ活動、地域での清掃活動、バーベキューなどの体験活動を行います。人との触れ合いの中で自らを発見し、子どもたちが心の扉を開き、社会性を構築し、未来に向けよりよい社会人として生きていくための土壌づくりの場です。また、在学している学校とも連携し、校長の判断で、学校への出席扱いにもなります。

中学生の保護者の声

「コロナで学校が休業し、再開した6月から子どもが学校に行きにくくなり、悩んでいました。私の知り合いが、太田さんが以前に勤められていた学校の関係者の方で、VITISの活動を紹介していただきました。継続して相談させていただき、気持ちが楽になりました。現状はすぐには変わりませんが、アドバイスいただいたことに取り組んだことで、少し先が見えたような気がします。」

説明会・相談会

▶ **保護者向けの説明会**

- 時 2月13日(土) 14時～ 所 アゼリア柏原 6階会議室
- ▶ **親カフェ**【不登校の保護者の集まりや相談活動も行っていきます。当日参加可】
- 時 2月17日、3月17日の水曜日 19時～20時
- 所 ふれあい館オガタ 費 500円

時 水曜日 9時～14時まで。
所 ふれあい館オガタ
費 月 3,000円
問 NPO法人リエゾン
☎ 080-2456-3898 (代表)
✉ npo.liaison@gmail.com

